誰でもわかる　がん講座・109　喉頭癌と咽頭癌

タバコは吸っていたものの声が枯れて受診したところ、喉頭癌と診断された話を聞いたことがあるかもしれません。喉頭癌は、喫煙癌で「タバコを吸うと癌になる」典型例です。咽頭癌の原因は、同じ咽頭の中でも、上中下に分かれているので発癌原因も異なります。上咽頭癌は稀ですが、EBウイルスによるウイルス発癌です。中咽頭癌は扁桃腺付近に出来ますが、喫煙と飲酒のほかに、イボウイルスによる「乳頭腫ウイルス関連中咽頭癌」として2000年以降増加の一途です。下咽頭癌は食道の入り口に出来る癌で喫煙と飲酒が原因です。咽頭癌は症状が出にくく、頸部のリンパ節に転移して「痛くもかゆくもない」頸部の腫れとして気付くことが多いのです。癌の予防は禁酒、禁煙ですが、中咽頭の発癌ウイルスの型は子宮頸癌ワクチンの対象とするウイルス型と共通していることは注目されています。中咽頭の発癌予防効果は推して知るべしとしても、医学的評価は行われておらず保険適応はありません。2020年から子宮頸癌の拡大を防止する観点から男性への接種も適応拡大となりましたので、普及すれば意図せずに中咽頭癌のワクチンとしての効果が判るかもしれません。ウイルス発癌の中咽頭癌は男性に多いのです。

耳鼻咽喉科　主任医長　飯塚　桂司